

住民の声

蜷川地区を
お訪ねしました！

お住まいとのことですが、また、地区の団結力の良さの一例として、住民あがいで取組んで来た「であいの里蜷川」が、先般15周年をお祝いして頂いたとのことでした。

蜷川地区は、上川口港に流れ至る蜷川沿いの集落、及びその東側を流れる有井川の最上流部の米原により構成され、地区長によると戸数は122戸、人口240人ほどで、高齢化率は63%ほどとのことでした。

地区の特徴は、人口に対して面積が非常に広いことで、蜷川の最上流部の伴太郎は川沿5kmほどに9戸15人が、また米原は川沿2kmほどに14戸20人が、高齢化の進む中、元気に



▲今年の稲も順調です (米原)



▲米原の守り神「日吉神社」

▼稲の生育を見守るご夫婦 (伴太郎)



▲遊びに来たお孫さんと「虫取り」に (米原)

▲今日の当番スタッフです



★写真は、いずれも6月18日撮影です



▲毎月第1週と第3週の日曜日と月曜日開催のモーニングサービスは地区内外の皆さんの大きな楽しみです (上2枚、であいの里蜷川)

当地区は、面積が広いですがまとまりのいい地区です。そうした中、最近1ターンの2家族8人(子ども各2人)がハウス園芸に取組まれ、地域は活力を頂いています。

地区の課題としては、農業の従事者が段々と減少していることや、伴太郎や米原など少ない住宅が点在する

下村正直区長の声

地区の生活環境の維持、また、町や県にお世話になり立ち上げた「集落活動センター」であいの里蜷川」の存続への仕組みづくりなどがあります。

議会や行政への一言ですが、地区の課題への対策はもちろんです。が、「若者にお嫁さんを！」の環境づくりもお願いします。

編集後記

6月末に九州へ議員研修に行かせて頂いた折のこと、当地では、現在も度々地震が発生とのこと、また、梅雨の最中で傘、長靴等を持参での参加でしたが、運よく地震にも雨にも会わず、無事に帰ってきました。

ところが、その翌日から九州では、地震、台風更には集中豪雨による甚大な被害が発生。豪雨により亡くなられた方のご冥福と、被災された方々に心よりお見舞いを申し上げます。

これらの事は、南海トラフ大地震にも備えなければならぬ当町にとっても他人事ではなく、今後にも更に、議員も一丸となり取り組んでまいります。(浅野修一)

議会広報常任委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 宮川 徳光 |
| 副委員長 | 浅野 修一 |
| 委員 | 小松 孝年 |
| 同 | 坂本 あや |
| 同 | 藤本 岩義 |
| 同 | 宮地 葉子 |

黒潮町 議会だより・議事録は、黒潮町ホームページよりご覧になれます。

<http://www.town.kuroshio.lg.jp/>→黒潮町の紹介→議会→議会だより→バックナンバー

■発行人 高知県黒潮町議会
 ■編集 黒潮町議会広報常任委員会
 ■住所 高知県幡多郡黒潮町入野 2019-1 TEL(0880)43-2111(代)・(0880)43-2831(直)

■発行日 平成29年8月1日